

中期経営計画2025 (ver.2)



2022年10月14日

 ユーピーアール株式会社

(証券コード7065 東証スタンダード市場)

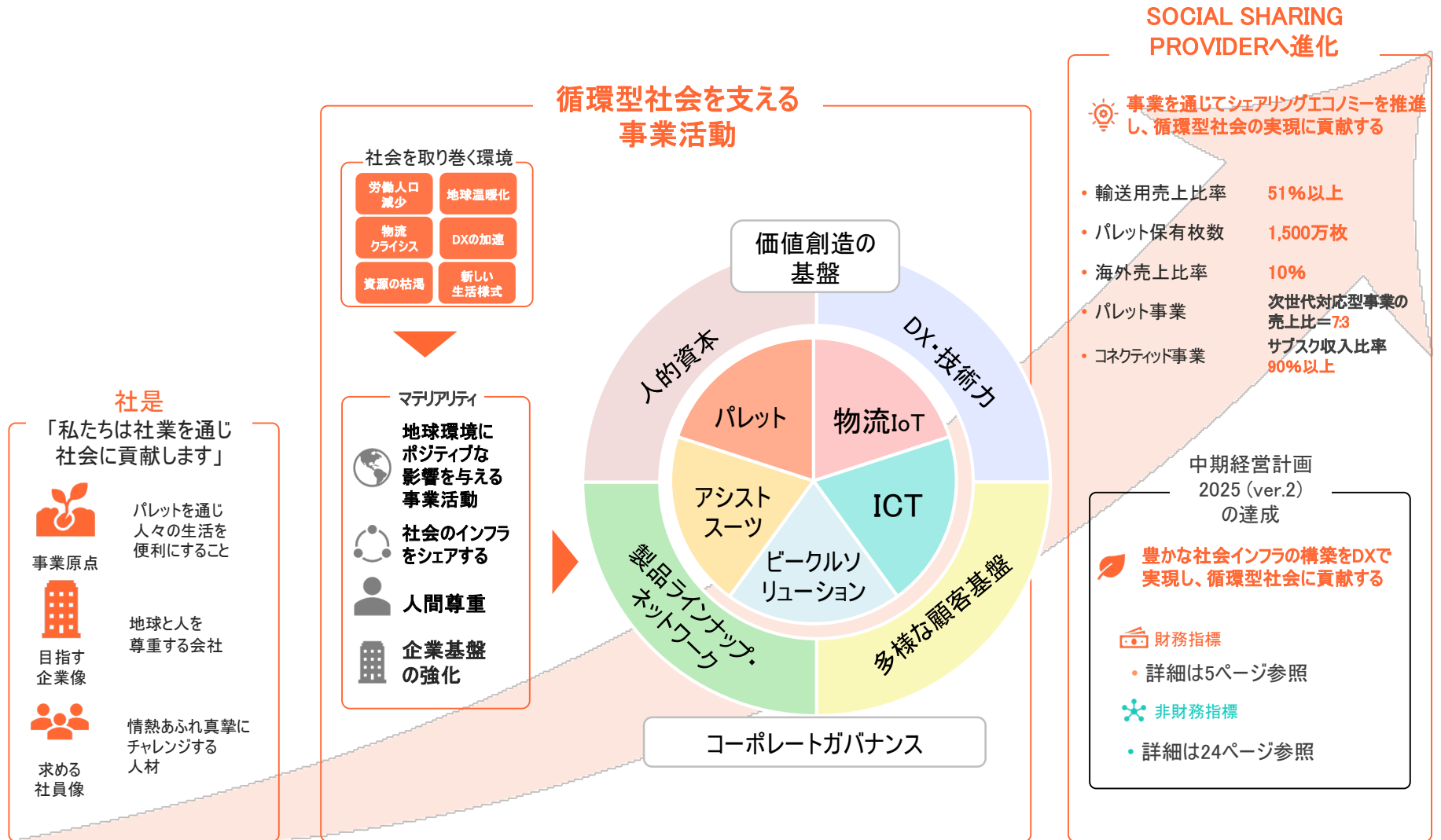
修正背景

中期経営計画2025(2021年8月期から2025年8月期)では、Social Sharing Supporterとして更なる成長を図るため、パレット事業を成長ドライバーに「5つの事業(パレット・物流IoT・アシストスーツ・ICT・ビークルソリューション)の柱を育成」すること、および「海外展開の加速」に対する取り組みを掲げました。これらの目標達成に向かい施策を強化しておりますが、新型コロナウイルス感染症の長期化による経済活動の停滞により、主力のレンタルパレット事業において、増収は継続しているものの当初計画を大きく下回る結果となっています。

物流業界においては、2024年問題への対応期限を1年半後に控え、「トラックドライバーの時間外労働の上限規制を遵守するために必要な労働環境の整備」の実現が喫緊の課題となっており、パレット輸送は有効な手段であるとの認識が高まっています。レンタルパレットによるパレットプールシステムは、パレットの回収及び流失防止の仕組みがあることから極めて高い関心を集めており、新型コロナウイルス感染症の影響で停滞していた導入の動きに、ようやく変化が出てきております。しかし、当初策定しました売上計画までは見込めないこと、ウクライナ問題や中国のゼロコロナ政策、インフレ率上昇による世界的金利上昇等、世界経済減速のリスクをはらんでいること、および、現在DX推進により業務改善と営業事務の効率化を進めるべく取組を開始し、今後は原価低減と稼働率向上に資する取組を進めるための各種デジタルツールの導入などを進めていることから、中期経営計画2025の目標を修正することといたしました。

当社は、「豊かな社会インフラの構築をDXで実現し、循環型社会に貢献する」という基本方針のもと、パレットというハードのレンタルにとどまらず、生産工場から消費者へとモノを運ぶうえで、物流の川上から川下までのあらゆる課題解決に取り組むソリューション提案企業を目指し、企業価値の向上を図って参ります。

当社は、「豊かな社会インフラの構築をDXで実現し、循環型社会に貢献する」ことを目指し、物流の川上から川下までのあらゆる課題解決に取り組みます。



ユーピーアールが新たに策定した中期経営計画2025 (ver.2)と連動させ、4つのマテリアリティを特定しました。



地球にポジティブな影響を与える事業活動



社会のインフラをシェアする



人間尊重



企業基盤の強化

マテリアリティ	社会課題	目指す姿	主な取組み	ESG	SDGs
1: 地球環境にポジティブな影響を与える事業活動	気候変動 環境問題 地球温暖化	地球環境への負担軽減となる事業活動	<ul style="list-style-type: none"> 環境配慮製品、サービスの拡充による顧客提供価値の極大化 事業活動で排出するCO2排出量の把握 	E	
2: 社会のインフラをシェアする	物流クライシス 働き方改革 長時間労働 2024年問題 人手不足 少子高齢化社会 ホワイト物流 人権尊重 過重労働	持続可能な社会を実現するための製品・サービス・仕組みを提供することにより、社会課題の解決に貢献する	<ul style="list-style-type: none"> パレットの利活用による、手積み手降しなどの物流ドライバーの重労働、付帯業務の軽減 アシストスーツ活用による作業時の負担軽減 輸送用機器の共同利用によるエコシステムの構築 先端技術を活用した効率化、自動化による顧客への価値提供 事業戦略 (M&A、アライアンスなどを含む) による事業領域の拡大 	S	
3: 人間尊重	多様性 女性活躍 ダイバーシティ 人的資本	従業員1人1人が活躍し、豊かな生活を過ごせる環境を整える	<ul style="list-style-type: none"> 安全と健康に配慮した職場づくり 多様な価値観の従業員が活躍できる環境づくり 個々のキャリア志向に応じた成長機会の提供 人材教育の強化 	S	
4: 企業基盤の強化	ガバナンス 企業リスク	企業基盤強化と社会的責任の両立による、長期的な企業価値向上	<ul style="list-style-type: none"> コーポレートガバナンスの強化 <ul style="list-style-type: none"> ①取締役会の実効性向上のための取組み ②サクセッションプランの制定 ステークホルダーエンゲージメントの向上 	G	

【中期経営計画2025 (ver.2) 基本方針】

基本方針

「豊かな社会インフラの構築をDXで実現し、循環型社会に貢献する」

考え方

パレットというハードのレンタルにとどまらず、生産工場から消費者へとモノを運ぶうえで、物流の川上から川下までのあらゆる課題解決に取り組むソリューション提案企業を目指す。

定量目標

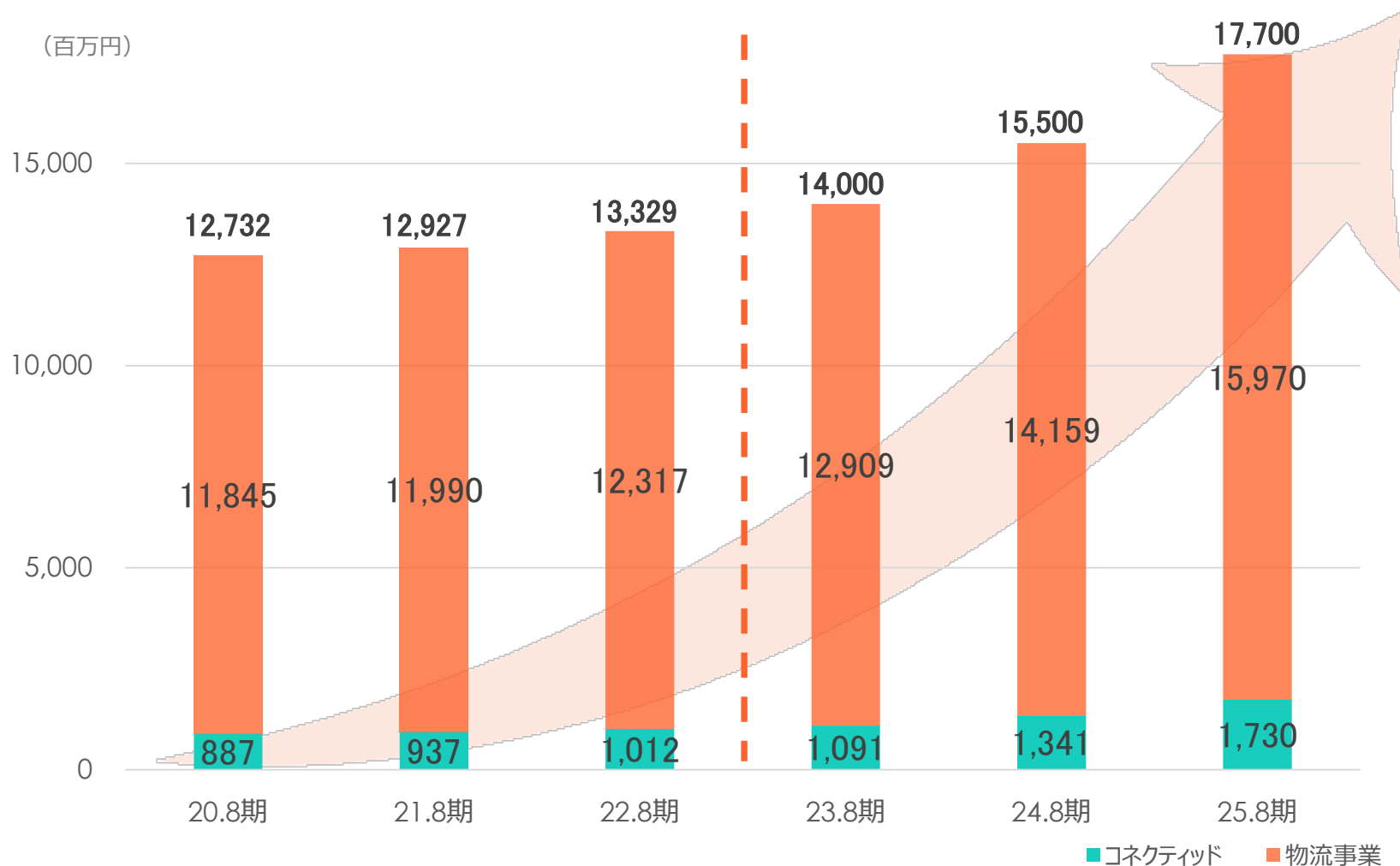
売上177億円、経常利益 19億円、ROE13%以上（長期的に15%以上を目指す）

4つの戦略

- 1 環境配慮に繋がるサービスの促進
- 2 人を尊重し持続可能な物流を支える
- 3 所有から共同利用（シェアリング）への促進
- 4 DX改革（先端技術）とオープンイノベーションによる新たなサービスの創出

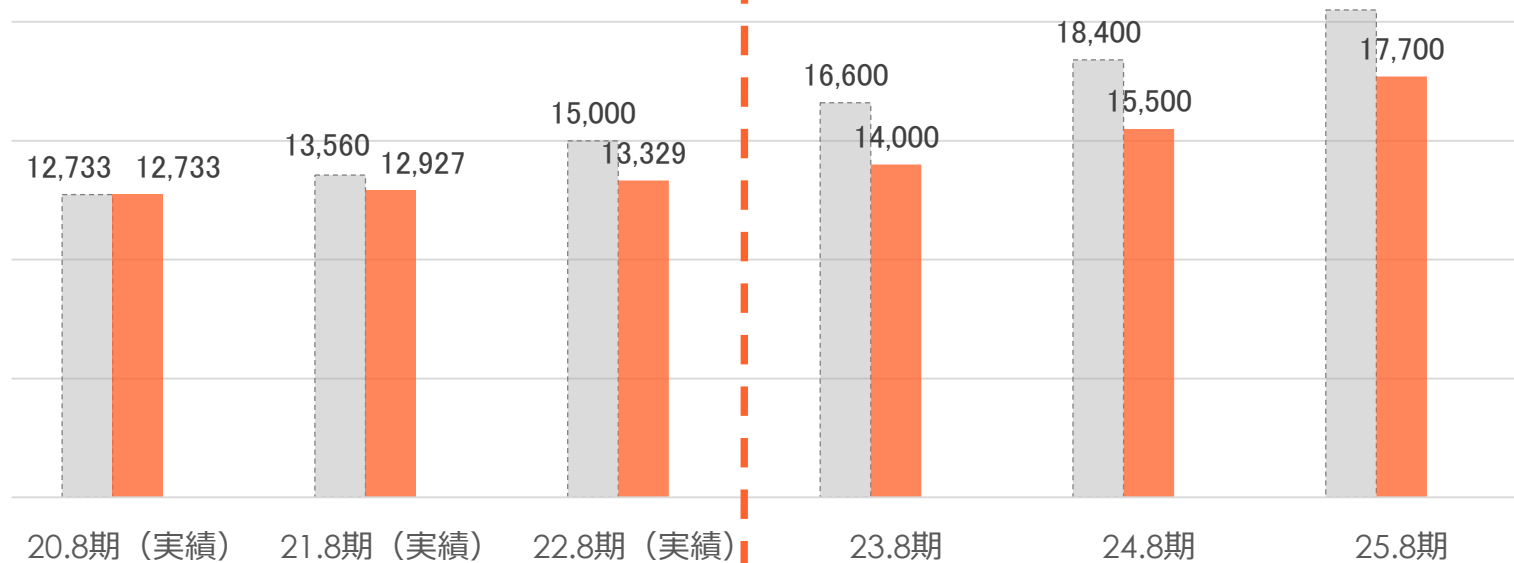
2014年8月期より12期連続増収を見込む

CAGR約10%



売上高

(百万円)



経常利益

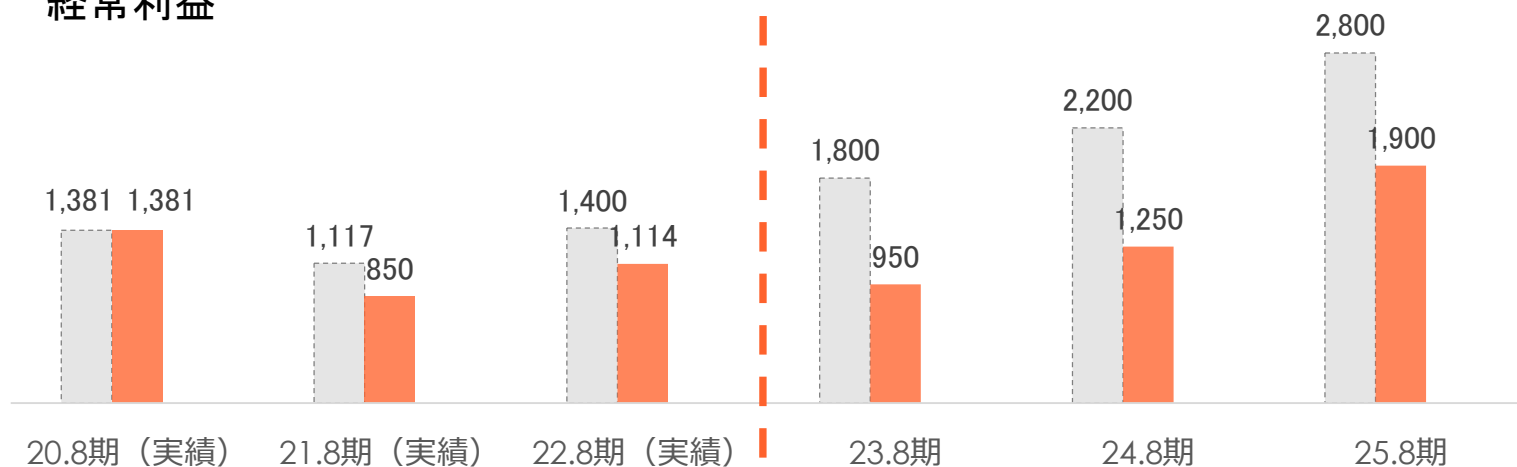
(百万円)

3,000

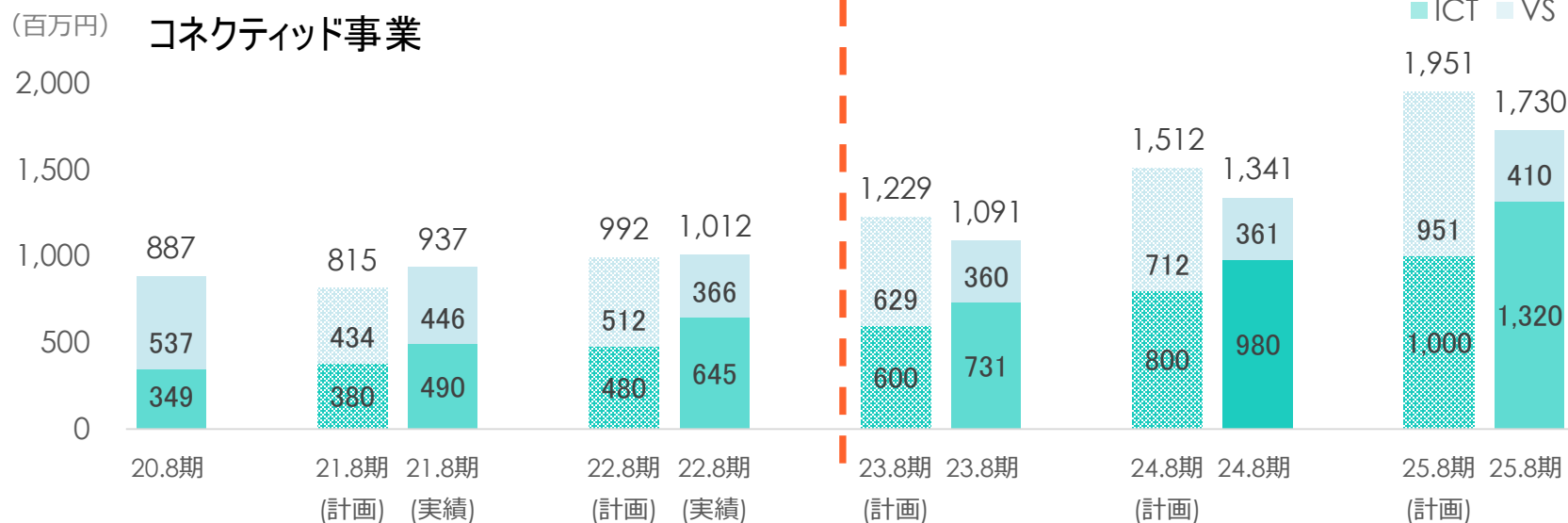
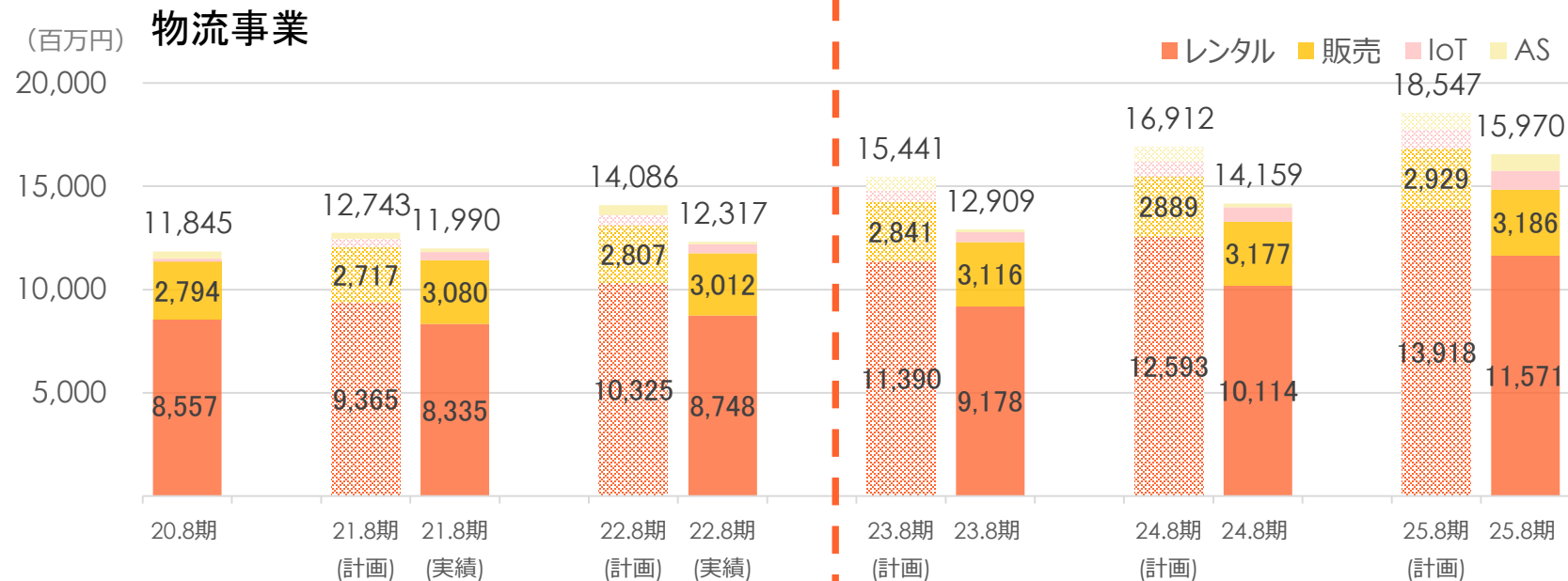
2,000

1,000

0



■ 当初目標 ■ 実績・修正後計画



テーマ	戦略
環境配慮に繋がるサービスの促進	<ul style="list-style-type: none"> 一貫パレチゼーション化による共同利用・共同回収の推進と、待機時間・配送回数の削減によるCO2排出量低減 企業が自社保有する輸送用機器の回送件数減少によるCO2排出量低減 適切な温度管理輸送の実現による、医薬品・食品などの製品廃棄件数の削減（なんつい、ワールドキーパー、みえーなど） 入在庫管理と紛失防止による資源の有効活用（スマートパレット®、U-Smart） DX推進による業務効率化、ペーパーレス化によるCO2削減
人を尊重し持続可能な物流を支える	<ul style="list-style-type: none"> 2024年適用開始のドライバー残業規制強化を見据えたパレット利用の訴求（ドライバーの付帯作業時間削減） アシストスーツの活用による作業時の負担軽減（労働疾病6割が腰痛）
所有から共同利用（シェアリング）への促進	<ul style="list-style-type: none"> 輸送用機器の自社保有からレンタル（シェアリング）利用促進 日本パレットレンタル(株)様との合同回収先の拡大、合同システム稼働開始、システムの業界への浸透、利用企業の増加 市場内遊休資産の活用啓蒙とシェアリングエコノミーの推進（RenRenの業界内浸透）
DX改革（先端技術）とオープンイノベーションによる新たなサービスの創出	<ul style="list-style-type: none"> DXデポの運営を通じた、協力会社とのオープンイノベーション創出の取組み 顧客企業の作業改善、効率化、コスト削減 IoTデバイスの活用によるドライバーの業務負担の低減（DXタグ、パレットファインダーなど）

		20.8期 (実績)	21.8期 (実績)	22.8期 (実績)	YoY	23.8期	YoY	24.8期	YoY	25.8期	YoY
		(百万円)									
物流事業	レンタル	8,557	8,335	8,748	5.0%	9,178	8.2%	10,114	10.1%	11,571	14.4%
	販売	2,794	3,080	3,012	△2.2%	3,116	3.4%	3,177	2.0%	3,186	0.2%
	物流IoT	150	399	434	8.8%	487	12.2%	688	41.2%	913	32.7%
	アシストスーツ	342	174	121	△30.3%	128	5.7%	180	40.6%	300	66.6%
	合計	11,845	11,990	12,317	2.7%	12,909	4.7%	14,159	9.7%	15,970	12.7%
コネクティッド事業	ICT	349	490	645	31.5%	731	13.3%	980	34.0%	1,320	34.6%
	ビークルソリューション	537	446	366	△17.8%	360	△1.6%	361	0.2%	410	13.5%
	合計	887	937	1,012	8.9%	1,091	6.8%	1,341	22.9%	1,730	29.0%
全社合計 (うち海外)		12,732 (476)	12,927 (504)	13,329 (765)	3.1% (51.7%)	14,000 (721)	5.2% (△6.1%)	15,500 (657)	10.7% (△8.4%)	17,700 (746)	14.1% (13.5%)

全社		(百万円)
物流事業	レンタル (売上目標：11,644)	次頁参照
	販売 (売上目標：3,186)	取引先ニーズへの対応と、レンタル他の事業に繋げる取り組み
	物流IoT (売上目標：913)	パレットファインダーなどの新商品、なんつい、ワールドキーバーの導入推進 要温度管理品（医薬品・食品etc）にもかかわらず、定量データに基づいた温度管理輸送が行われていない実態に対し、定量データに基づいた温度管理輸送や位置情報の可視化による業務負荷低減を提案 商品の実用化による売上伸張とレンタル事業とのシナジー発揮 RenRenの業界内浸透
	アシストスーツ (売上目標：300)	社会問題化している腰痛対策として、様々な業界へのアプローチを継続 目新しさや物珍しさで導入する段階から、実用品として着実に定着し、普及していくフェーズに移行すると想定 今後も現場目線でニーズを発掘・提案を行い、リアルなタッチポイントを増やして、市場の拡大に貢献していく
コネクティッド事業	ICT (売上目標：1,320)	DXタグの本格拡販 i. 月額サブスクモデルの販売開始 ii. データ提供に加え、コンサルティングサービス提供による高付加価値化・サービス価格向上 iii. マーケティングによる認知アップ活動、キャンペーンの実施
	ビークルソリューション (売上目標：410)	ビークル自主事業の拡大、社有車・公用車へのカーシェア化による稼働率アップと収益化 i. 建機レンタル向けキーボックスシステム拡販 ii. 社有車管理、自治体（EV対応含む）に対応した車載器+ソフトウェアのパッケージ化 iii. 大規模事業者向けの機能追加による競争力強化 iv. 自主事業（つくば・山口）での規模拡大 v. 新たなモビリティ対応の検討

レンタル事業

売上目標

22.8月期 87.48億円

25.8月期 116.4億円

CAGR 10.0%

施策・戦略



業界パレチゼーションの拡大
営業事務の効率化による営業力の強化
デリバリー業務の効率化による原価低減

当社売上高に占める輸送用パレット売上比率の推移 20.8期：約15% ▶ 25.8期：約25%

- ・業界パレチゼーション化を強力に推進するため、組織改編により、広域営業所への人員投入。エリア営業との連携により、取引先企業各拠点の囲い込みを推進
- ・DX推進により営業にかかる事務作業を改善し、営業時間確保により営業力を強化
- ・DX推進による原価低減と稼働率向上により原価率改善

パレット輸送拡大の背景



トラックドライバー不足・高齢化



貨物自動車運送事業法の改正



ホワイト物流宣言、働き方改革

ターゲットとする業界



農産物、肥料



即席めん、家電、化学品



家庭紙、紙加工品、冷食



継続的に増加する保管用レンタルパレット需要への対応



日本パレットレンタル(株)様との合同回収先の拡大、合同システム稼働開始、システムの業界への浸透、利用企業の増加



DX推進による、稼働率の向上を実現（年間平均稼働率5%向上）

背景

全産業平均より2割長い、トラックドライバーの労働時間※1

要因

- ・荷物の積み付け積み下ろしをドライバーが1名でサービスで行う商習慣(90~120分※2、発着地でそれぞれ発生)
- ・他のドライバーの作業終了まで、平均105分の順番待ちが発生※2

(次ページ図表参照)

→深刻な人手不足の発生

- ・過酷な労働環境による若手のなり手不足
- ・現役ドライバーの高齢化(大量定年、2028年には27.8万人不足※3)

国主導の対策

- ・厚生労働省による「働き方関連法案」により、2024年4月以降、運送業に「時間外労働上限規制」適用(年960時間)※4
違反した場合、トラック事業者に罰則が科される
→4.1億t/年(14.3%)の輸送能力が不足※5
- ・貨物自動車運送事業法改正法に基づく違反行為(長時間の荷待ち、依頼にない附帯業務など)の疑いについて、国土交通省から荷主への「働きかけ」62件、「要請」1件※6

※1 (一社)日本物流団体連合会、(株)日通総合研究所調べ ※2 国土交通省調べ ※3 (公社)鉄道貨物協会調べ

※4 働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律(平成30年7月6日公布) ※5 NX総合研究所調べ。2019年度の営業用トラック輸送量を用いた試算

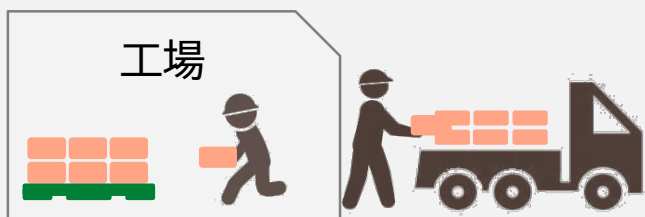
※6 国土交通省「取引環境適正のための荷主対策・連携」(令和4年8月18日)

従来通りの方法では、法令順守と輸送能力確保の両立が持続不可能
既存の商習慣からの脱却は不可避

パレット輸送により、労働時間の短縮と労働者の負担軽減を実現

手荷役

<出発地>



90分～120分

他のドライバーの
作業終了までの
荷待ち時間



平均105分

<着地>



90分～120分

パレット輸送



20分



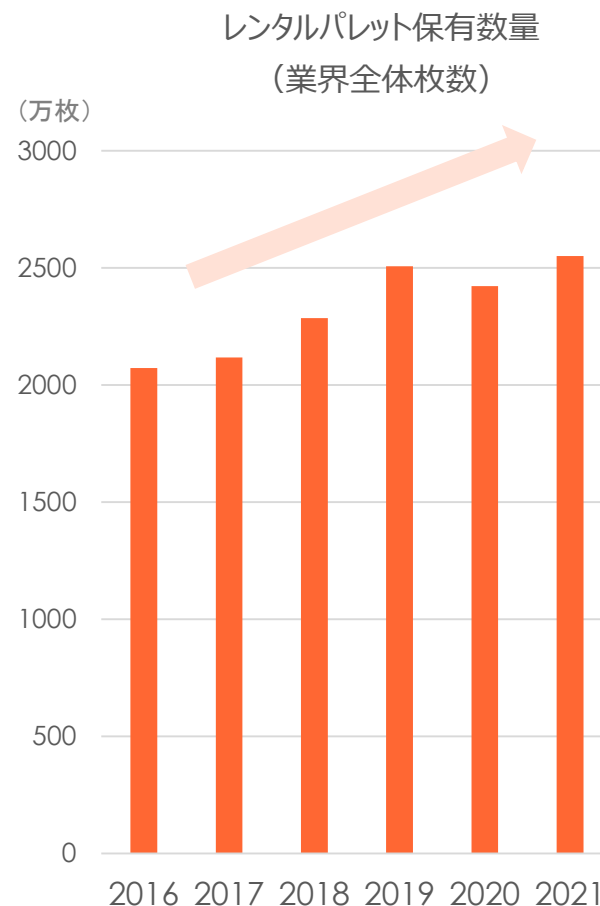
20分

- コロナの影響による物流量減少により2020年は一時的に減少したものの、2021年は過去最高数量を更新。2024年の労働環境変更対策のため、今後一層レンタルパレットの活用増加が見込まれる。

レンタルパレット保有数量 (2022年度発表)

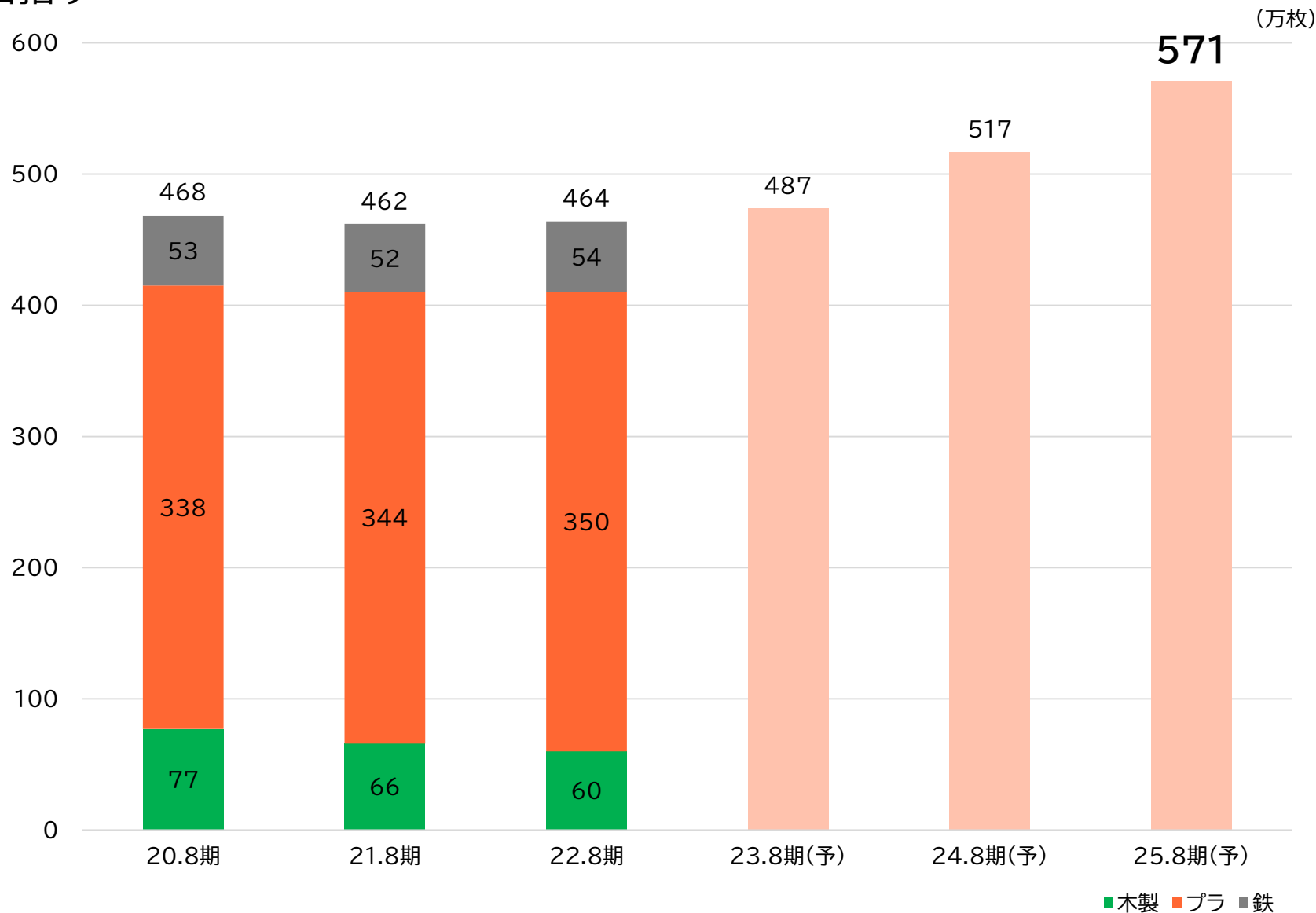
一般社団法人日本パレット協会 調査

パレットの種類	大きさ(mm)	保有数量					
		2016	2017	2018	2019	2020	2021
木製平パレット	1100×1100	3,784,298	3,687,607	3,863,848	3,932,524	2,717,600	2,056,988
	1300×1100	478,577	434,669	471,502	488,032	439,072	422,811
	1400×1100	1,910,893	1,977,211	1,910,242	1,980,149	1,858,578	1,761,317
	1200×1000	173,975	161,252	167,582	156,233	114,096	119,904
	その他	284,835	277,334	290,524	307,098	355,078	336,065
	小計	6,632,577	6,538,073	6,703,698	6,864,038	5,484,424	4,697,085
プラスチック製平パレット	1100×1100	10,981,457	11,451,656	12,568,132	14,050,946	14,222,241	16,131,434
	1100×900	100,924	68,814	40,442	52,000	35,673	23,673
	1200×1000	428,073	474,888	497,165	564,195	654,456	742,252
	1400×1100	1,208,459	1,280,786	1,572,896	1,660,343	1,841,369	1,911,115
	その他	363,893	364,091	612,687	750,565	764,902	790,521
	小計	13,082,806	13,640,235	15,291,323	17,078,050	17,518,641	19,598,995
ロールボックスパレット		70,731	72,669	82,153	72,880	43,500	42,335
ボックスパレット		6,621	6,990	17,265	17,098	1,500	8,500
その他のパレット		930,426	928,316	769,774	1,042,571	1,179,278	1,169,575
合計		20,723,161	21,186,283	22,864,213	25,074,639	24,227,343	25,516,490
前年比		103.1%	102.2%	107.9%	109.7%	96.6%	105.3%



一般社団法人日本パレット協会HP <https://www.jpa-pallet.or.jp/>

- 高稼働を維持しながら需要に応じた枚数を適切に購入し、総稼働枚数の増加を目指す



ユーピーアールは、パレット等のレンタルのみならず、
サプライチェーン全体における様々な問題を先端技術に基づく
DXソリューションで解決します。

パレット事業



スマートパレット®

物流機器のシェアリングとDX化により、社会インフラを支える



最大300m圏内での読み取りと最長10年利用可能なバッテリーが特長の、アクティブRFIDタグを搭載。入出庫作業や在庫管理の自動化を進めます。

物流IoT事業

物流のDX化、及びサービスのシェアリングを目指す

「なんつい」「ワールドキーパー」など、サブスクリプション型ビジネスモデルを確立。最近では、医薬品GDP（Good Distribution Practice：実践流通規範）にも対応しています。



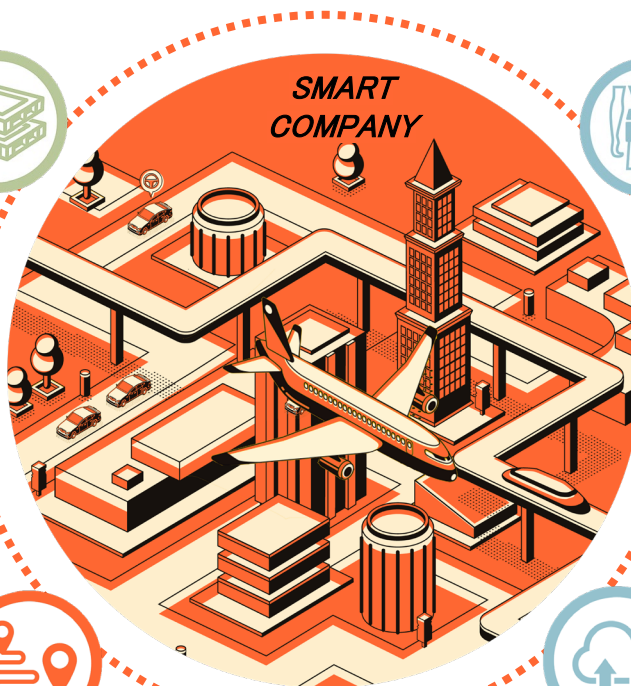
AI画像解析



遠隔追跡



自動化



アシストスーツ事業



ビークルソリューション事業



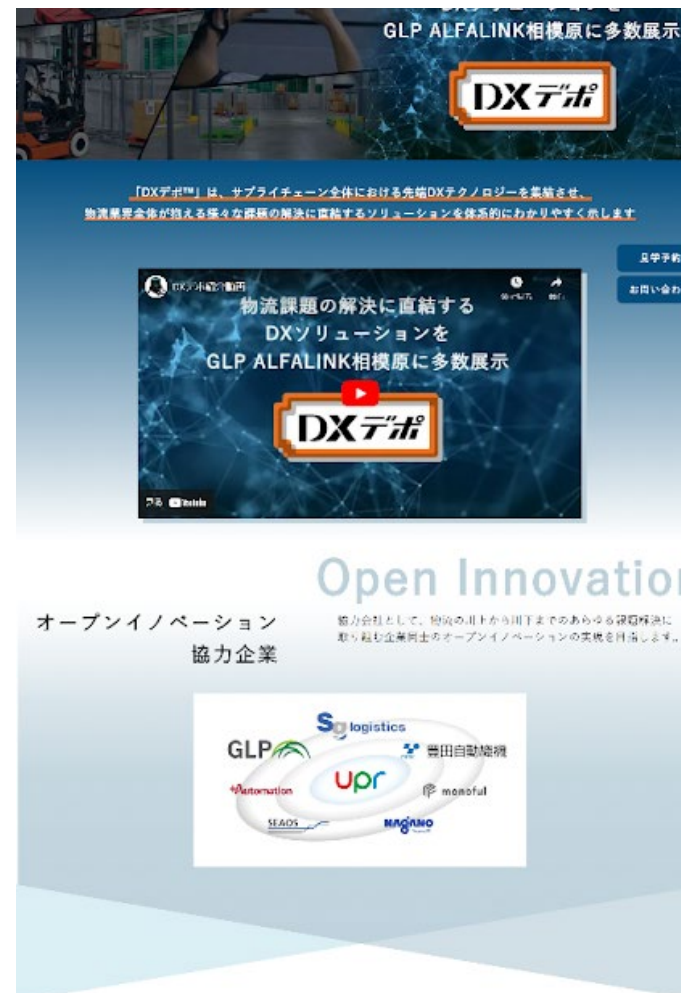
ICT事業

- 2022年9月、オープンイノベーションとして協力会社の協力を得て、「DXデポ」をオープンし、物流DXソリューションの提案を行います。



見学申し込みフォームをHPに掲載しています。

※法人のお客様に限ります。



全ゾーン


**「アクティブRFIDタグ」
& 「リーダー」**

最長10年間利用可能なバッテリーを持ち電波を発信する「アクティブRFIDタグ」と「リーダー（受信機）」を組み合わせ、パレットやカゴ車などの動きを可視化するクラウド型管理システムです。
物品に装着されたタグは最大300m離れたところまで情報を送信できるため、読み取りに人手を介しません。

物流センター・倉庫ゾーン

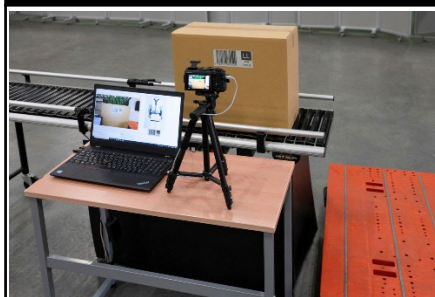
ロケーション管理システム

(平置き荷物)
研究開発中



あらかじめ「アクティブRFIDタグ」搭載パレットと荷物の情報を紐づけておき、フォークリフトの位置情報を組み合わせることで、従来困難であった平置き荷物のロケーション管理が可能となります。

生産工場ゾーン


**パレット・かご車と荷物の紐づけ
研究開発中**

「アクティブRFIDタグ」が搭載されたパレットやカゴ車を活用し、荷物のバーコードをカメラで読み取ることで、タグと製品の情報を紐づけることができます。

ロケーション管理システム

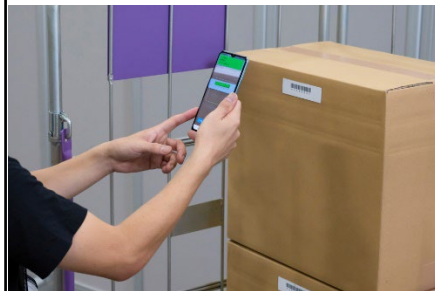
(ラックの荷物)
研究開発中



「アクティブRFIDタグ」を搭載したパレットと「リピータ（中継機）」、「リーダー（受信機）」を使用し、どのラックにどのパレットがあるかを自動で管理します。パレットに製品情報を紐づけておくことにより、ラック上の在庫情報もリアルタイムに確認可能です。

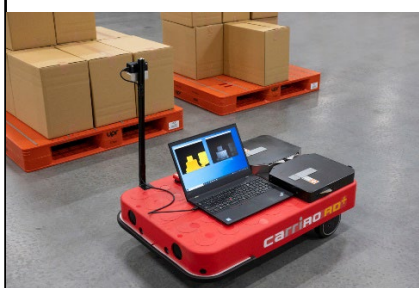
**「UスマホKENPIN」
研究開発中**

パレットやカゴ車等の物流機器のバーコードと、荷物のバーコードをスマートフォンのカメラで読み取ることで、物流機器と荷物の情報を紐づけすることができるアプリケーションです。
ハンディスキャナーや読み取りリーダーは不要で、お手持ちのスマートフォンで簡単に導入できます。



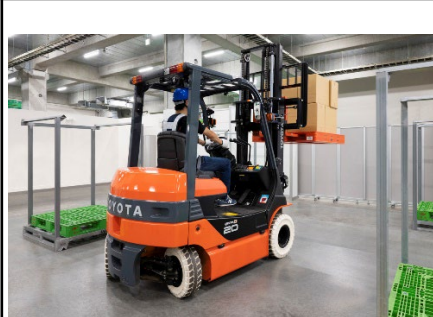
TOFカメラによる在庫管理システム

研究開発中



距離計測するTOF（Time Of Flight）カメラを使用します。計測されたパレット上の荷物の距離情報を基に、荷物の在庫状況（個数）を自動で確認するシステムです。

物流センター・倉庫ゾーン



フォークリフトの安全運転支援システム

研究開発中

移動中のフォークリフト同士の衝突回避や、フォーク（爪）を出したままなど、危険な状態での運転に対する警告を出します。フォークリフト運転手に対する個別警告だけでなく、全フォークリフトの運転状態を管理者側でリアルタイムに監視することが可能となります。



「t-Sort」プラスオートメーション(株)

「t-Sort」は全設備可動式の次世代型ロボットソーターで、少人数・短期間・大量の仕分けを実現します。従来の固定式ソーターと比較し高い柔軟性を持つことに加え、圧倒的な短リードタイムと省スペースです。プラスオートメーションのRaaSはロボットサービスを初期費用はゼロ円から、月額定額制のサブスクリプション型でご提供します。

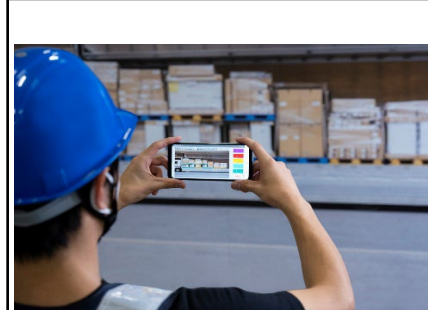


「SLAM式キーカート」シーオス(株)

「SLAM式キーカート」は磁気テープ不要な自律走行型搬送ロボットです。劣化による張替えやレイアウト変更が抑えられるため、早期導入・現場負担軽減による定着のしやすさを実現しています。

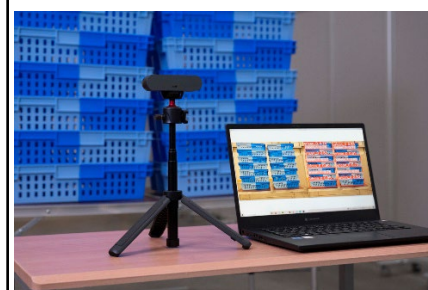
シーオスの提供するRMS（ロボットマネジメントシステム）にて、簡単に遠隔操作・一元管理もできます。

輸送ゾーン



「パレットファインダー」

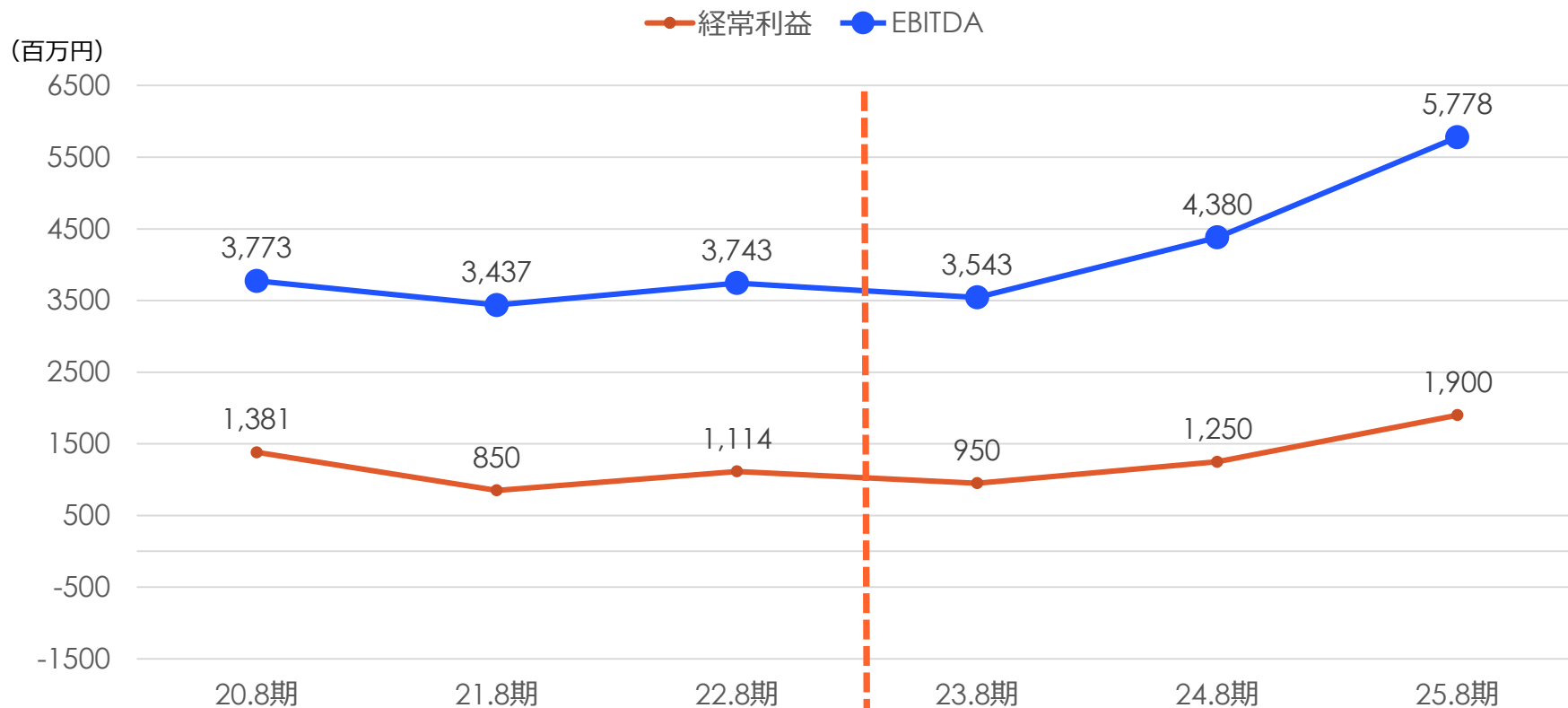
AI画像解析技術を用い、スマートフォンのカメラでトラックに積載又は床に平積みされているパレットを撮影するだけで、瞬時に“どの色・種類のパレットが何枚あるか”をカウントできるアプリケーションです。読み取ったデータは、外部のクラウドサーバ等へデータ伝送されます。



マテハンファインダー

研究開発中

パレットのみならず、様々なマテハンをカウントできるアプリケーションです。



物流事業	2,228	1,682	2,100	2,044	2,246	2,853
コネクティッド事業	53	△4.5	△121	△73	57	116
本社経費	△901	△827	△864	△1,021	△1,053	△1,069
全社	1,381	850	1,114	950	1,250	1,900

(単位：百万円)	20.8期 (実績)	21.8期 (実績)	22.8期 (実績)	23.8期	24.8期	25.8期	コメント
売上高	12,732	12,927	13,329	14,000	15,500	17,700	
物流事業	11,845	11,990	12,317	12,909	14,159	15,970	
レンタル	8,557	8,355	8,748	9,178	10,114	11,571	
販売	2,794	3,080	3,012	3,116	3,177	3,186	
物流IoT	342	399	434	487	688	913	
アシストスーツ	150	174	121	128	180	300	
コネクティッド事業	887	937	1,012	1,091	1,341	1,730	
ICT	349	490	645	731	980	1,320	
VS	537	446	366	360	361	410	
経常利益	1,381	850	1,114	950	1,250	1,900	
物流事業	2,228	1,682	2,100	2,044	2,246	2,853	
コネクティッド事業	53	△4.5	△121	△73	57	116	
設備投資額	4,680	2,099	2,834	4,820	5,815	7,536	自社デポを25.8期までに新設
EBITDA※	3,773	3,437	3,743	3,543	4,380	5,778	
FCF	△943	△275	1,172	△1,657	△1,443	△2,018	
自己資本比率	33.6%	38.8%	39.7%	39.9%	39.1%	38.0%	自己資本比率30%以上を常に維持

※EBITDA = 税引前当期利益 + 減価償却費 + 支払利息

- 当社では人的資本への取り組みをマテリアリティの1つとして認識し強化しています。今後も経済産業省から発信される指針に沿って人的資本経営、サステナビリティ経営を推進してまいります。

◆ 人的資本強化のための主な取り組み

- 2021年8月期に人事部内に教育グループ(現:人材開発グループ)を新設
- 人材育成についての各方針を制定し、社員教育の仕組みを体系化(人材育成ハンドブック作成)

人材育成方針

当社は求める人材像として、「情熱あふれ真摯にチャレンジする人材」を掲げています。

会社が更なる成長を遂げるためには、社員1人1人の成長が不可欠であり、社員全員が当事者意識を持ち主体的に取り組む組織を目指し、独自の教育体系を構築し、社員の成長を後押しする環境を整えています。

人材育成のための施策・目標	
教育研修費	年間約15.5百万円 (1人当たり年間80,000円以上)

社内環境整備方針

当社は一人ひとりが多様な個性・価値観を尊重し、革新性と柔軟性を持って高付加価値企業の実現を目指し、わが社で働くすべての人達がワクワク・イキイキとし、会社を通じ自己実現できる環境を追求していきます。

社内環境整備のための施策・目標			
ダイバーシティ&インクルージョン		安全と健康に配慮した職場づくり	
男性社員の育児休暇試取得率	80%以上	健康診断受診率(精密検査等の二次検診も含める)	100%維持
女性社員の育児休業からの復職率	100%維持	ストレスチェック受診率 (50人未満の事業場を含めた受診率)	100%維持
管理職に占める女性の人数	5人以上		

<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="background-color: white; border-radius: 50%; padding: 5px; margin-right: 10px;">人的資本</div> <div style="background-color: red; color: white; padding: 5px; text-align: center;">情熱あふれ真摯に チャレンジする人材</div> </div>		
項目	中計最終年度	
有資格者数		
物流事業	ロジスティクス経営士	5名
	物流技術管理士	10名増
コネクティッド事業	プロフェッショナル人材	5名
女性管理職		5名以上

<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="background-color: white; border-radius: 50%; padding: 5px; margin-right: 10px;">製造資本</div> <div style="background-color: green; color: white; padding: 5px; text-align: center;">レンタルパレット事業を支える 製品とネットワーク</div> </div>		
項目	中計最終年度	
パレット保有枚数	Update	約571万枚
家庭紙用 保有枚数		100%増
レンタルパレット年間平均稼働率		5%向上
自社デポ新設数	Update	1件

<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="background-color: white; border-radius: 50%; padding: 5px; margin-right: 10px;">知的資本</div> <div style="background-color: blue; color: white; padding: 5px; text-align: center;">新しい価値を創出する 技術力と知財</div> </div>		
項目	中計最終年度	
アクティブタグを活用したソリューションの提供件数	50件	
特許等出願件数	15件	

<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="background-color: white; border-radius: 50%; padding: 5px; margin-right: 10px;">社会関係資本</div> <div style="background-color: gold; color: white; padding: 5px; text-align: center;">多様な顧客基盤</div> </div>		
項目	中計最終年度	
レンタル事業 顧客数	3,500社	
輸送用売上比率	25%	
海外売上比率	5%	

Update Update **【コーポレート・ガバナンス強化】**
 サクセッションプランの制定／取締役会実効性向上／従業員への経営ビジョンの浸透／ステークホルダーとの積極的な対話

【免責事項】

本資料の作成に当たり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や安全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは安全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。また、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化や他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって大きく差異が発生する可能性があります。なお、当社は新たな情報や将来の事象により、本資料に掲載された将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

本資料は、投資勧誘目的で作成されたものではありません。

実際に投資を行う際は、本資料を全面的に依拠した投資判断を下すことはお控えください。いかなる目的でも、本資料の一部または全部を、無断で転載、二次利用することはご遠慮ください。